

夢を追う卒業生 その22 平成30年11月22日

タイ山岳民族ボランティア

◇今回は、山口莉穂さん（岐阜大学医学部医学科）のレポートです！

はじめに

みなさんこんにちは。岐阜大学医学部医学科 4 回生の山口莉穂です。前回、私の医学生としての生活を「活躍する卒業生④」で紹介していただきました。今回は大学生活ではなく、病院実習前の休みを利用して 10 月の中旬から 2 週間参加した、タイの山岳民族ボランティアでの体験をみなさんにお伝えしようと思います。

なぜ山岳民族ボランティアなのか

なぜ山岳民族、なぜボランティアなのかと疑問に感じた方も多いことでしょう。まず第一に「異文化体験」への強い関心がありました。先進国を訪れると、日本と同じようなチェーン店やビル街があります。しかし、今の日本とは景色や文化、生活などあらゆる点で異なる山岳地域で生活することで、日本では体験できない何か大切なことを学ぶことができるのではないかと期待していました。加えて、時間のある今だからこそ公共性・自発性・無償性・先駆性を理念とするボランティアとはどういうものかを経験しておきたいという興味が今回のボランティアに私を引き寄せました。またボランティア以外にも、医学生としてタイの伝統的なハーブ療法について知りたいという気持ちもこの旅を決めた理由の一つです。

ボランティアについて

私が参加したのは、タイ王国チェンライ県にある NGO ミラー財団(以下「ミラー」という)です。山岳民族は、国籍のない人がいたり、「謎の民族」と思われているが故に差別されたり、麻薬や人身売買に手を染めてしまったりなど様々な問題を抱えています。

世界中からボランティアが集まるミラーでは、山岳民族の生活の質向上と文化・伝統の継承を目的として山岳民族支援を行っています。



ミラーでの生活

2 週間、ミラーの施設に住みこみボランティア活動を行いました。虫や動物が家の中にも外にもたくさんいて、夜は蚊帳の中で寝る生活です。お風呂は冷水を浴びることしかできません。自然に囲まれて育った私ですが、2 週間耐えられるか始めはかなり不安でした。しかし、しばらくするとそれにも慣れ、毎

日楽しく生活させていただきました。



ボランティア活動

ボランティアとしての最初の活動は、ミラーの近くの村の子どもたちとの交流です。子どもたちの中には、兄弟の世話を任されている子や家族が麻薬で刑務所にいる子など、問題を抱えている子どもがいます。

活動の目的は、子どもたちが他の国の文化と触れ合うことで、異文化理解につながり、文化に優劣はなく自分たちの文化が誇りあるものであると感じてもらうためでした。運動会や流しそうめん、折り紙などを計画し、準備実行して有意義な時間を過ごすことができました。

後半は海外から集まったボランティアたちと稲刈りをしたり、山を耕して道を作ったり、道路補修のために土を運んだりしました。大変ではありましたが、食べ物への感謝を改めて感じることができました。

自由な時間には、ボランティアで集まり一緒に歌ったり、国の文化や習慣の違いについて話し合うことができました。



ハーブ療法について

現代の日本は西洋医学が主となっており、ピンポイントで病巣だけにアプローチする治療や薬による副作用が問題となることがあります。一方、タイの山岳地域ではハーブ療法を子どもの頃から生活の中で学び、生活に取り入れています。ハーブは、山や村で採れる植物の種子、葉、豆、根などで、細かく刻み、複数種類を混ぜ合わせて用いていました。

療法の対象は、日常で起こる腹部や頭部のトラブルや骨折、切り傷などです。ただし、「科学的な」物質による病気と考えられているものや感染症は西洋医学の病院で治療を受けるそうです。ハーブ療法の効果はそれほど強くないですが、複合的な要因にも対応でき、副作用もほとんどありません。体調を崩

したらすぐに西洋医学的な薬を飲むのではなく、まずは自然から作られる薬で治すという選択は、今後のあるべき医学の姿ではないかと感じました。

生きる力

日本人はこれがない、あれが必要となった時、すぐにそれを買に行きます。物に溢れた生活をしている私たちは、物が十分でない生活を見て不便だと感じ、優越感を抱くことさえあるかもしれません。しかし私がお会いした民族の方々は、今の暮らしに不便さは感じず、土や竹、木などの周りにあるものから必要なものを作りだします。少ない道具で、必要なものを作る民族の方々に私は心から尊敬しました。便利になっている一方で私たちの生きる力が弱くなっているのかもしれない。

最後に

私が山岳地域から学んだことは、私が山岳地域に貢献できたことを遥かに超えています。これを本当にボランティアと言って良いものだろうか悩んだ時もありました。今後、しっかりと知識をつけ、資格を取ってから何らかの形で恩返しをしたいと強く願っています。

私は大学生の間に、このような素晴らしい経験ができたことにすごく満足しています。観光目的の旅も良いですが、学生時代に自分の経験のための体験型の旅に出ることを強くお勧めします！